

## 地形・地盤分類データ記述ファイル規約

### 1. 概要

本書は、地形・地盤分類データを記述するファイルの規約を示すものである。地形・地盤分類データは2章～3章で示す規約により作成記述される。本データの出典を表 1-1 に示す。

表 1-1 出典

出典
若松・松岡(2020)

### 2. ファイル命名規約

地形・地盤分類データ記述ファイルは以下のファイル名とする。

```
Z-WM2020-JAPAN-M250.csv
```

### 3. データ記述規約

地形・地盤分類データは“#”で始まる複数行のコメントとデータブロックから構成される GSV ファイルとする。“#”で始まるコメント行はファイルの先頭から連続して任意の行数記述することができる。コメント行にはファイルバージョン、作成日、及び更新履歴を記録する。以下にファイルバージョン、作成日、更新履歴、及びデータブロックの記述規約を示す。

#### (1) ファイルバージョン

# VER. = X.Y の形式で記述する。X はメジャーバージョン、Y はマイナーバージョンを示す。

#### (2) 作成日

# DATE = YYYY-MM-DD の形式で記述する。YYYY は西暦、MM は 2 桁の月、DD は 2 桁の日を示す。

#### (3) 更新履歴

# UPDATED

# YYYY-MM-DD 更新内容 1

# YYYY-MM-DD 更新内容 2

...

の形式で記述する。

#### (4) データブロック

データブロックは、250m メッシュコードに対応する表層地盤データを記述するブロックである。各データは”,”で区切られる。ブロック内記述方法を表 3-1 に示す。各データの書式は、C 言語の printf 書式指定子で表す。

表 3-1 データブロック

列番号	列名	書式	説明
01	CODE	%10c	250m メッシュコード(世界測地系)
02	JCODE	%2d	微地形分類コード
03	AVS	%5.1f	表層 30m の平均 S 波速度 (m/s)

微地形分類コードの説明を表 3-2 に示す。

表 3-2 微地形分類

微地形分類コード	微地形区分
0	沿岸海域
1	山地
2	山麓地
3	丘陵
4	火山地
5	火山山麓地
6	火山性丘陵
7	岩石台地
8	砂礫質台地
9	火山灰台地
10	谷底低地
11	扇状地
12	自然堤防
13	後背湿地
14	旧河道・旧池沼
15	三角州・海岸低地
16	砂州・砂礫州
17	砂丘
18	砂丘・砂州間低地
19	干拓地
20	埋立地
21	磯・岩礁
22	河原
23	河道
24	湖沼

(5) データ記述例

データ記述例を表 3-3 に示す。

表 3-3 データ記述例

データ記述例
#
# VER. = 1.0
# DATE = 2020-06-04
#
# UPDATED
#
# CODE, JCODE, AVS
5640000011, 1, 641.3
5640000012, 1, 641.3
5640000013, 1, 641.3
(以下省略)

4. 参考文献

- (1) 若松加寿江・松岡昌志(2020): 地形・地盤分類 250m メッシュマップの更新, 日本地震工学会誌, No. 40, pp. 24-27.